

大阪湾漁場環境速報

平成29年11月2日発行
兵庫のり研究所

栄養塩は全域において概ね10 μg-at/L以上となっており、各ノリ漁場周辺での栄養塩は十分量で推移しています。湾奥から湾東部において、一部スケルトネマの大量発生が確認されましたが、それ以外の海域では珪藻は確認される程度で少ない状況でした。

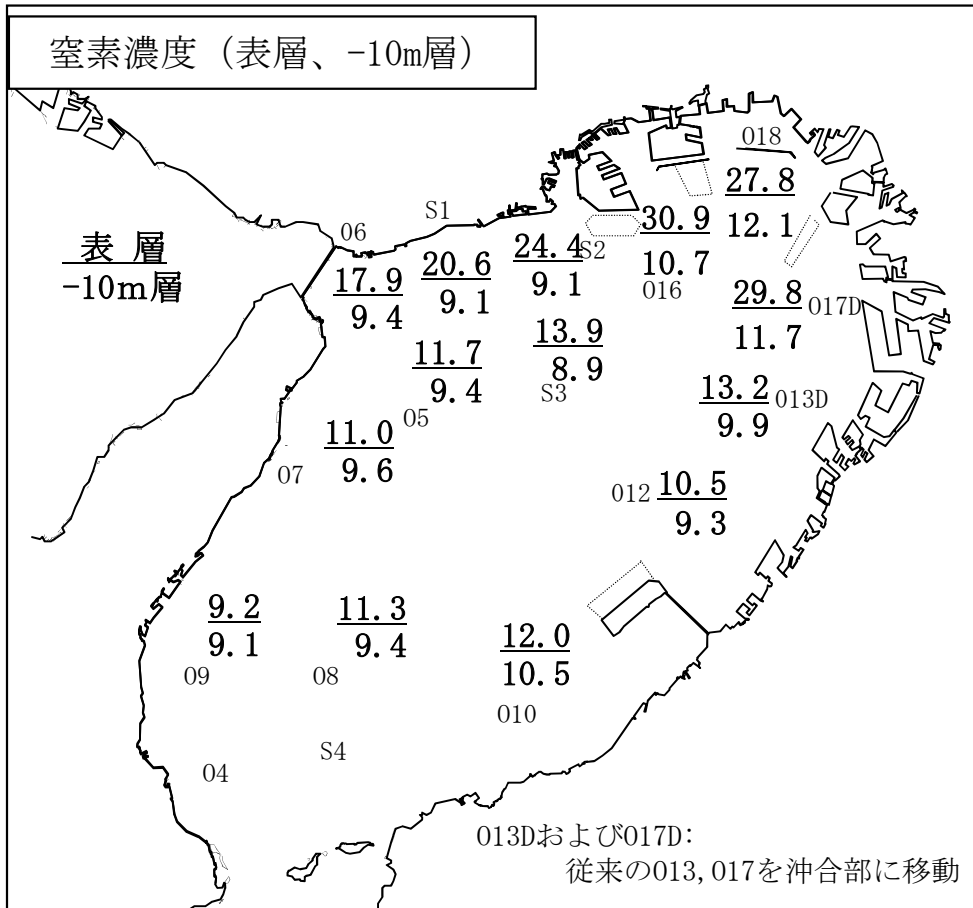
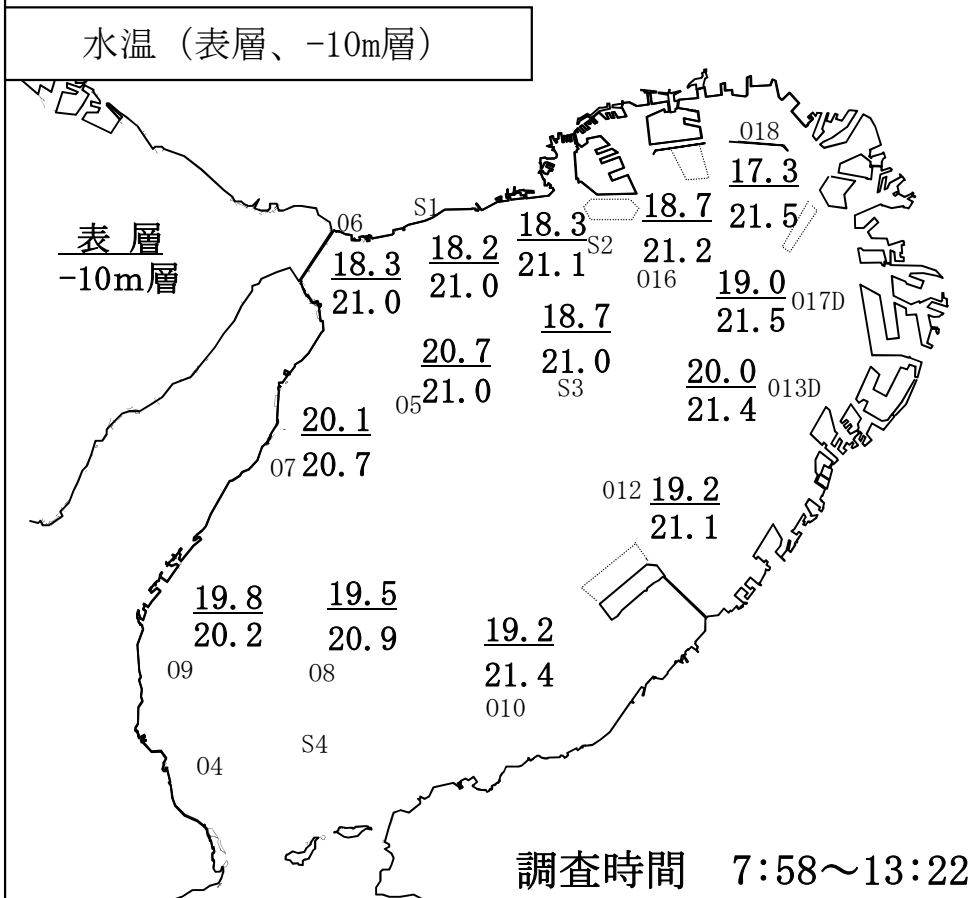
(水温) 表層は湾内17~20℃台で、平均19.1℃。平年比約2.1℃低い。-10m層は平均21.0℃(平年比-0.3℃)。

(塩分) 表層平均26.51psu(平年 32.03)。-10m層平均31.48psu(平年 32.27)。陸水の影響が見られており、湾全体に塩分濃度は低い。

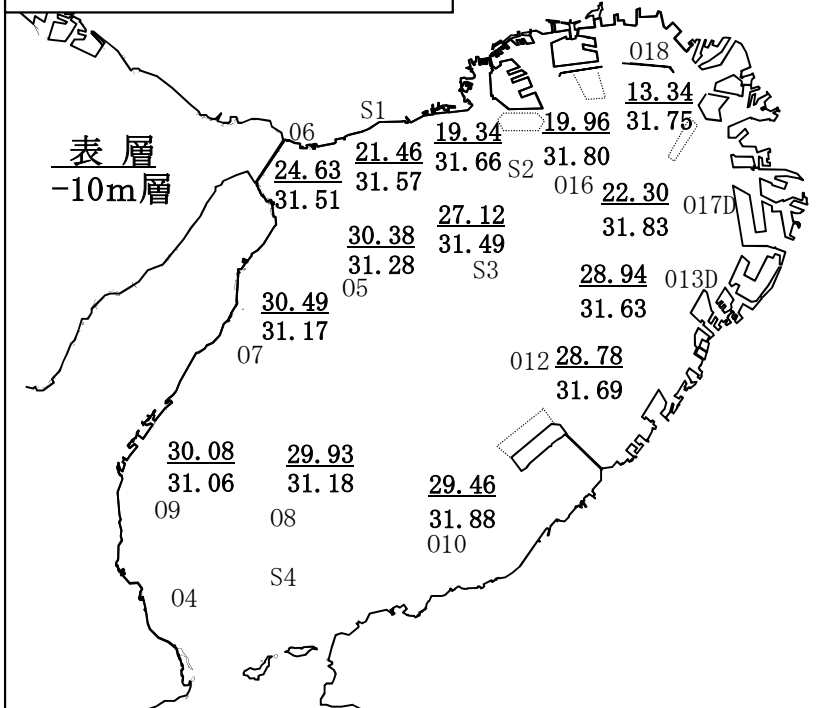
(栄養塩、他) 表層の窒素は平均15.7 μg-at/L、リンは平均0.98 μg-at/L。窒素・リンともに平年より高い。-10m層(平均)は、窒素9.5 μg-at/L、リン0.74 μg-at/L。湾奥や関西空港にかけての大阪府沿岸域においてスケルトネマが優占種として多く発生していた。志筑沖の-10m層で大型珪藻コシノディスカスが確認されたが、海域全般には発生量は少ない状況。神戸地先および湾奥部から岸和田にかけて懸濁物質等によるにごりで透明度は低い。

上段 (今回値)	平成29年11月2日調査
中段 (昨年度)	平成28年11月2日調査
下段 (平年度)	11月上旬

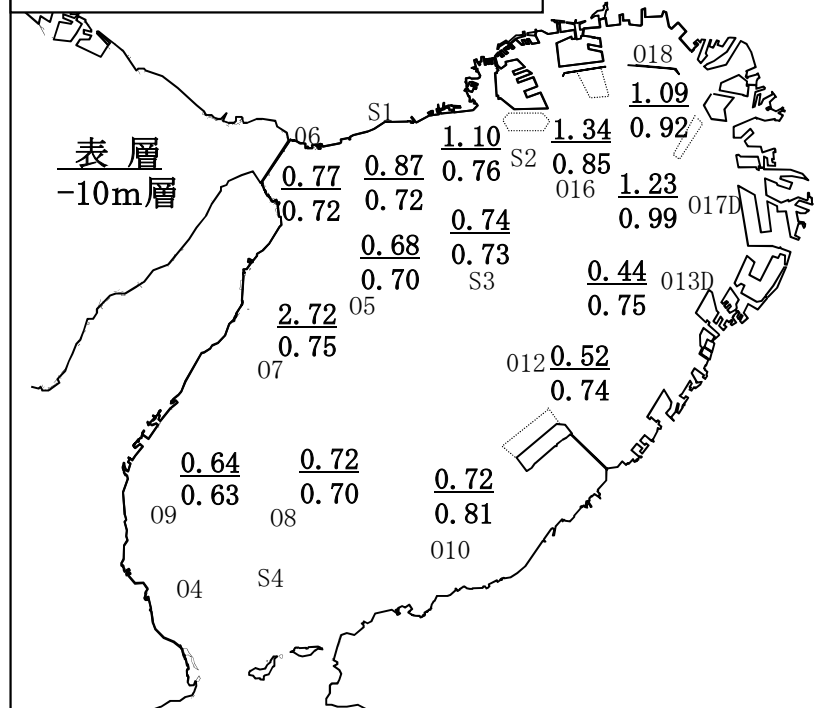
調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 (μg-at/L)	磷酸 (μg-at/L)
04	21.6	32.74	4.8	0.47
	20.7	30.38	11.7	0.68
05	22.4	32.22	6.7	0.64
	21.6	32.22	5.1	0.57
06	18.3	24.63	17.9	0.77
	22.4	32.38	7.4	0.64
07	21.4	32.15	5.5	0.58
	20.1	30.49	11.0	2.72
08	22.6	32.53	7.3	0.66
	21.7	32.27	5.4	0.61
09	19.5	29.93	11.3	0.72
	22.9	33.12	6.5	0.52
10	21.7	32.54	4.5	0.48
	19.8	30.08	9.2	0.64
12	22.8	33.04	6.6	0.53
	21.7	32.56	4.8	0.50
13D	19.2	29.46	12.0	0.72
	21.9	32.34	7.2	0.61
16	20.8	32.01	4.8	0.46
	19.2	28.78	10.5	0.52
17D	22.1	32.48	7.3	0.64
	20.8	31.73	4.1	0.42
18	20.0	28.94	13.2	0.44
	21.6	32.13	5.4	0.37
S1	20.7	31.31	4.3	0.35
	18.7	19.96	30.9	1.34
S2	21.1	31.74	7.2	0.40
	20.0	30.47	11.3	0.57
S3	19.0	22.30	29.8	1.23
	20.8	30.04	21.6	0.94
S4	20.5	29.36	24.2	0.92
	17.3	13.34	27.8	1.09
013Dおよび017D:	20.3	29.95	24.0	1.13
	19.9	28.40	30.8	1.29
016	18.2	21.46	20.6	0.87
	22.5	32.51	7.6	0.63
017D	20.9	31.75	6.1	0.52
	18.3	19.34	24.4	1.10
018	21.6	32.13	7.6	0.54
	20.2	31.02	7.6	0.49
S1	18.7	27.12	13.9	0.74
	22.5	32.49	7.4	0.61
S2	21.5	32.20	5.0	0.56
	21.6	32.69	4.7	0.48
S3				
S4				



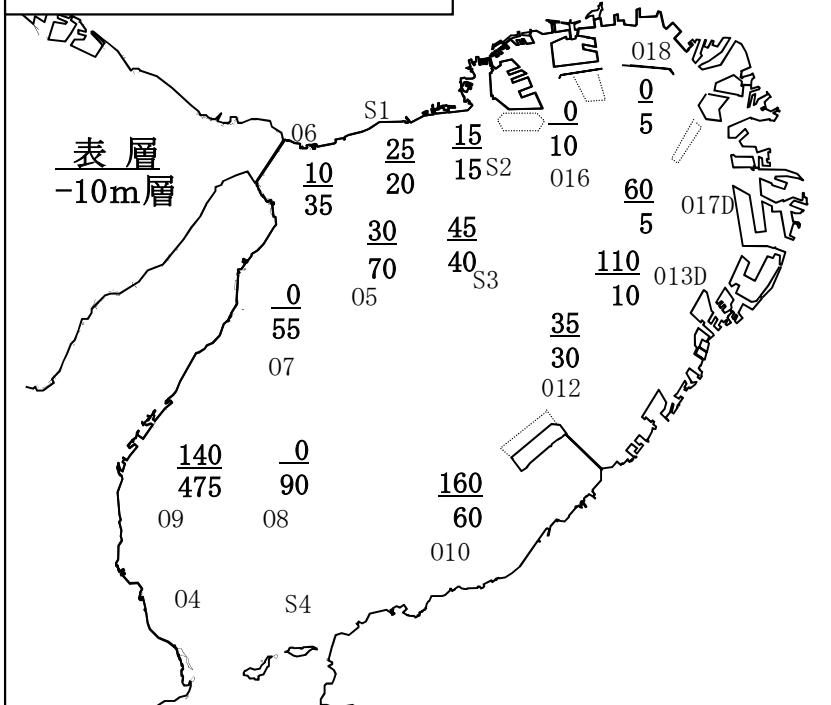
塩分 (表層、-10m層)



リン濃度 (表層、-10m層)



コシノディスカス (細胞/L)



スケルトネマ (細胞/ml)

